

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年10月15日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【建屋内淡水化装置(A)SPT廃液移送ポンプ(A)出口弁の動作不良について】 建屋内淡水化装置(A)SPT廃液移送ポンプ(A)の電動出口弁を閉止操作時、全閉にならない動作不良を確認。当該弁の点検、修理を予定。</p>	GⅢ
2	<p>【2号機、3号機原子炉格納容器ガス管理設備ダスト放射線モニタ監視装置の不良について】 3号機原子炉格納容器ガス管理設備ダスト放射線モニタ(A)の点検作業において監視用パソコンの記憶装置(HDD)の1台に異常が発生していることを確認。 記憶装置(HDD)は二重化されており、監視機能に支障はない。 また、類似箇所の調査において2号機原子炉格納容器ガス管理設備ダスト放射線モニタ(A)の監視用パソコンについても同様な異常を確認。 記憶装置(HDD)の異常は、経年劣化によるものと考えられ、交換を予定。</p>	GⅢ
3	<p>【海水放射線モニタ用空調機(2)の故障について】 海水放射線モニタ用空調機の定例切替において空調機(2)が故障し、起動できないことを確認。 当該空調機は2台で構成されており、放射線モニタの機能に支障はない。 当該空調機の故障原因の調査、修理を予定。</p>	GⅢ
4	<p>【除染設備振動ふるい機*(A)のホース脱落について】 解体したフランジタンクの除染設備の運転中、圧力低下を示す警報が発生したため、除染装置を一時停止。 現場調査により、振動ふるい機(A)出口部のホース及びホースバンドが脱落したことを確認。 当該ホースの復旧及び類似ホースバンドの増し締めを行い、運転を再開。 * 振動ふるい機:再利用可能な研磨剤と廃棄物を分ける装置。</p>	GⅢ